

令和2年度 9月の園だより



驚き、発見！！小さな研究者



今年は梅雨が長く、子どもたちが楽しみにしている水あそびもなかなかできませんでした…

しかし、梅雨の合間にも屋上や園庭、2階のテラスでも水の不思議さに気が付き、感触や心地よさを感じながら遊んでいました。その中での子どもの驚きや発見そして、あそびの中で学んでいる子どもの姿を少しご紹介します。

5歳児クラスしろ組“水あそび”

廃材や透明の容器に水を入れてぐるぐるかき混ぜると…なんと渦ができることに気が付いたしろ組さん。すぐに「せんせい！みてみて。これすごい！」と大興奮。透明の容器だったこともあり、横から見ても、上から見ても渦ができる様子を観察でき、「これ、天気予報で見たことあるよ。台風みたい…」とつぶやく子どもたちも。



渦の形に注目したり、水の動きを観察するなど、まるで小さな研究者のようでした。子どもたちの「知りたい！試したい！」気持ちはどんどん深まっていきました。そして、仲間と共有しただけであそびは続いています。夏は子どもたちが感じたり、試したりできる絶好の季節！！これからも、子どもたちが感動に出会えるような“あそび”と一緒に楽しみたいと思います。



クラスのきっすノートなどでも保育の様子を今後も配信します。

まだまだ続く新しい発見！！

先週行われた夏まつり week。園内に響き渡るお祭りばやし。そして、かき氷にわたがし、焼きそばにヨーヨーつり、年長さんは昼食にバーベキューと例年とは違う形ではありましたが、保育の中であそびやおやつ、昼食を利用しながら、子どもたちと夏まつりの雰囲気を楽しみました。

わたがしでは、2歳児さんは初めて目にする子も多かったようで、白くてふわふわの塊にちょっぴりドキドキ、口に入れたとたん広がる甘さに思わず笑みがこぼれていました。食べ終わった後「せんせい、手までいいにおいがするよ」と手の香りを友だちと喜びかわいい年少さんの姿も見られ、とても微笑ましい光景でした。年長さんのバーベキューは、「お肉がやわらかくておいしい」と大好評！！お肉の香りは、園内くまなく流れていき、年少さんや年中さんからは、「今日の給食お肉かね？」というつぶやきが聞こえてくるほどだったようです。また、親子で作っていただいた手作りちょうちんは、様々なアレンジも加わり、園内が華やかになり、お祭りを盛り上げてくれました。保護者の方から、「毎朝の目覚めがよくて、喜んで保育園に行くんです。」という話をたくさん伺い、「今日は何があるのかな？」と夏まつり week を親子で楽しみにして下さっていたことを知り、私たちもとても嬉しく思いました。いつもと違う形の夏まつりではありましたが、その中で子どもたちは、様々なことを感じ、喜び、保育者と共に楽しむことができました。

みみょうでは、園関係者には、新型コロナウイルスの感染者がないという前提のもと、形を変えながら出来るやり方で様々な行事を開催しています。「人生で成長が著しい子どもにとっての今は今しかない」という思いのもと、子どもたちの今を大切に、どうすればできるかということを中心に意識しながら、職員と考え保育を進めています。

今年の夏は、夏まつりだけでなく水あそびにおいても、変化がありましたが、子どもたちは、どんな状況下の中でも、好奇心、探究心をもち、楽しいことをいっぱい見つけています。

水あそびにおいては、プールの排水に樋をくっつけ、水の流れや勢いの変化を何度もくり返し試したり、水の入ったバケツに他の容器を入れると水が溢れ出る不思議さに驚き、夢中になったりと、水の不思議さを様々な形で試し、考え、工夫し、また新しい発見を生み出していました。詳しい内容については、左端の「驚き、発見！！小さな研究者」のドキュメンテーションをご覧ください。

まさに子どもたちはあそびの天才です。こうした、あそびの中で子どもたちの、“驚き・発見・感動”こそがこれから大人になった時に必要な状況判断や、困難を乗り越える力になっていくのではないかと考えています。

さあ、いよいよ今月12日（土）は、幼児組さんが楽しみにしている運動会が待っています。もちろん例年とは少し形を変えることとなりますが、子どもたちは、すでにワクワクしながら担任や友だちと一緒に踊ることを喜んだり、速くかっこよく走れる方法を考え工夫しています。

まだまだ続くコロナ禍ではありますが、細心の注意を払いながら、出来る時にできることを子どもたちとおもいきり楽しんでいきたいと思えます。

主任



子育て応援メッセージ

いつもお母さんは
子どもの喜びに
敏感です



子どもがうれしいとお母さんもうれしい、そしてお母さんがうれしいと子どももうれしいのです。頭のてっぺんからつま先まで、子どもは全身で表現していますから、お母さんにはわかります。子どもが何か話しかけてきたら、ちゃんと受け止めてください。子どもに負けないくらい、どんなに愛しているかを態度で示してほしいのです。

新潮社 「子どもはみんな問題児」より
著者 中川李枝子
主な著作 「ぐりとぐら」「いやいやえん」など

秋分の日



今月の23日は秋分の日です。この日は昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼間がだんだん短くなります。仏教では、この日ははさんで一週間を“彼岸”といい、お墓参りなどをして先祖を偲ぶ習慣があります。毎日無事に過ごせたことに感謝をし、謙虚な心でありたいものです。

いざという時に備えて住宅用火災
警報器、消火器などを備えましょう

9月1日 防災の日
9日 救急の日

